

平成 30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 幸和会	代表者	理事長 横尾 幸久	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の本当の気持ち(ニーズ)を理解し、思いやりのある対応を心掛けています。 ・利用者様もスタッフも、明るく笑顔でいっぱいの雰囲気作りを目指しています。 ・職員への研修を充実させて、介護の質の向上を図っています。 ・地域の行事やイベントに積極的に参加しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ふるる	管理者	木原 章博		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	3人	3人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の情報やニーズについて、ミーティング等を通じて、職員間で共有出来ているが、強いて言えば、職員による能力の差はまだあるので、その格差を軽減していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などの成果だと思いますが、利用者様の体調や精神面の微細な変化に気付くようになったとあります。そのようにして頂く、家族様としては安心できるのではないかと思います。 ・職員の能力が上がったことで、出来る事も介助してしまう、とあります。また、生活習慣についても把握しきれていないところがあるとの事。今後はそのようなところに注力していけば良いのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回も話しましたが、項目によっては個々での自己評価が難しいところも見受けられます。今後は自己評価の内容も職員それぞれの立場に応じて作っていく必要があるのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況に応じて、必要な介助が提供できるように、研修等行っていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	特に改善点はなし。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流も多く、ホールを使ってもらうなどして地域の方が中に入り易い環境になっていると思います。家族の方の面会は、変わらず多く長い時間面会しているようで、家族様も安心しているのではないかと思います。 ・臭いや音についても特になく、臭いについては施設全体に脱臭装置をつけていることで、来た時には全く不快な感じはないです。 ・鍵については、外からは入り易いが、中からは出難くなってい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるる 1 号館もそうですが、ふるる 2 号館もいつ来ても綺麗にしていると思います。外部の清掃業者に任せていることで、掃除もしっかり出来ているし、職員は介助に専念出来ていることが見受けられます。 ・扉が内側からはスイッチを押さないと開かないことは、出てからの事故防止と言う事は分かりました。利用者様が出たい時には職員と一緒にいて出る事ができるので、特に扉が自動で開かない 	特に改善点はなし。

		る。近くに大きな道路があるので出てしまっからの事故を考えての事と聞き、理解できました。	事について気になるほどではないと思いました。	
C. 事業所と地域のかかわり	特に改善点はなし。	<ul style="list-style-type: none"> ・一部挨拶ができていない職員がいます。忙しい事もあると思いますが、笑顔で挨拶してもらえると、こちらとしても嬉しいですね。 ・地域のイベントなどに積極的に出てくれているので、イベント側で予め利用者様が過ごし易いように用意してくれているようになっている。困った事に対しても、地域の方が相談に来る事もあり、対応してくれているので有り難いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設側から開放して地域の方に使ってもらえている事は、関わりがしっかり出来ていることの表れでもありますし、とても助かっています。 ・ふれあいの部分では十分関わりが持っているといます。今後は災害時の協力体制も考えていって欲しいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の徹底を行っていきます。 ・災害時のかかわり、協力体制について、地域の方と話をしながら構築していきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様本人が住んでいる地域の方を交えた会議に参加出来る様に努力していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画については、今現在、利用者様が運営推進会議に参加できています。今後も参加できるように取り組んでいってほしいです。 ・利用者様は普段から外に出て、地域の施設などを有効に利用してくれています。地域の行事やイベントにも職員さんと一緒によく参加してくれています。 ・近所に住んでいる方が相談に来たり、たまたまでしょうが認知症の方が困って施設に入ってくるのを助ける場面があったりと、心配そうな方に関わっている様子がよく伝わっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントにはいつも利用者様と一緒に参加してくれています。その時に職員さんが地域の方とコミュニケーションを取ったり、利用者様も地域の方なので、知り合いに会って話が弾んでいる様子を眼にしています。 ・運営推進会議に参加していた地域の方が、小規模多機能型居宅介護を利用する事になりました。ご本人の意向もあって、運営推進会議には参加を続けてもらっていることは、普段の様子を知らない我々からすれば、伝えてもらう事は大変有り難いです。よければ地域の他の会合でも体験談を話してもらいたいです。 	特に改善点はなし。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>特に改善点はなし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用している方の話や議題がほとんどであったと思います。地域の心配な方を見かける事がありますが、議題としては挙げてはいません。 ・地域のイベントや行事などは、日中の時間に人員を割いて出してくれる事は大変なことだと思っています。それでも利用者様を連れて参加してくれたり、準備や片付けにも積極的に参加してくれたりと助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの周りでも心配な方は話に出てくるので、運営推進会議の場でその様な事を話していけばよいと思います。私たちだけではなく、地域の民生委員の方はもっといろいろな事を知っていますので、今後はその様な話も積極的にしていきたいし、職員さんの方からも振ってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の運営推進会議で、地域の心配な方の話についての話題提供と検討の時間を設けます。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>特に改善点はなし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画は分からないのが現状ですし、事業所の防災訓練には参加できていないです。 ・逆に地域の防災訓練にはいつも積極的に参加してくれているので、今後もよろしくお願ひしたいです。 ・災害時、事業所は頼りになると思っています。だからといって周囲の人が集まってきてもよいものかは考えないといけません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも事業所の防災計画を運営推進会議のメンバーが知っておいたほうが良いのかどうか疑問ではあります。火事の場合なら助けに行くことが必要になるかもしれない(そもそも火事は起き難い)ですが、地震や風水害の時は、地域全体の防災計画に基づいて動くもので、その中での事業所としての役割を考えていく方がよいと思います。なので、「わからない」としています。事業所の防災訓練には参加できていません。お互いに機会を作ることがとても難しいですが、参加できる機会があれば参加したいと思います。 ・災害時にはこのような新しい施設は強度もしっかりしているので、とても頼りになります。大水があった時などは周囲の人が逃げ込むなどの連携を作っておくことが大切だと思います。 ・避難場所として使うのは良いですが、ふるる2号館は施設の中に 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した防災計画の作成。それに基づく事業所の防災計画を検討します。 ・事業所の防災訓練に、地域の方の参加を出来るだけ促していきます。

			いる人たちを守る事も必要で、そんな時に周囲の人も抱え込んでしまうのはとても大変なのではないでしょうか。ここの防災計画として、周囲の人たちの対応を予め決めておいてほしいです。	
--	--	--	--	--